

南房総市定例記者会見

日時 平成30年4月26日（木）

午前10時30分

場所 市役所本庁舎 本館2階第1会議室

【会見項目】

- (1) 南房総市議会第1回臨時会を招集
- (2) 今年も企業誘致や起業を強力にサポート
- (3) 平成29年度のふるさと納税 制度開始以来の年間最高額、件数となりました
- (4) 避難行動要支援者布製防災用具『ポンダナ』を作製

【その他 資料提供】

5月行事およびイベント情報

南房総市総務部秘書広報課

TEL0470-33-1002・FAX0470-20-4591



定例記者会見 平成30年4月26日 開催

会見項目No. 1

南房総市議会第1回臨時会を招集

「平成30年南房総市議会第1回臨時会」を4月27日に招集いたします。
今臨時会は、議会議員改選後の初議会であり、承認案件2件、一般議案1件、人事案件6件の計9件の案件を提出いたします。

提出案件のうち、「専決処分の承認」につきましては、平成30年3月31日付で専決処分をしました、南房総市税条例等の一部を改正する条例、南房総市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認となります。

「指定管理者の変更」につきましては、南房総市観光インフォメーションセンターの指定管理者である南房総市観光協会が法人化したことに伴い、指定管理者となる団体の変更を行おうとするものです。

「副市長、教育委員会教育長、教育委員会委員、監査委員及び固定資産評価員の選任及び任命」につきましては、任期満了により、それぞれ選任・任命するものです。

【参考情報】

【問い合わせ】

南房総市 総務部 総務課 総務グループ 担当者：平嶋・根本
電話：0470-33-1021 FAX：0470-20-4598
e-mail アドレス：somu@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 平成30年4月26日 開催

会見項目No. 2

今年も企業誘致や起業を強力にサポート

南房総市は、平成30年度4, 120万円（商工課分）を予算計上、引き続き企業誘致や起業を強力にサポートしていきます。

市は都会からの新しいひとの流れをつくり、地域にしごとをつくるため、商工課所管の下記8事業を展開、各種セミナーの開催や企業誘致・起業支援に取り組みます。また、千葉県の「新しい「人の流れ」から「しごとの場」まで地域一体で創造する千葉創生事業」と連携した事業を県内関係5市町と実施し、雇用創出や定住人口の増加を図ります。

設備投資等に対する助成制度のほか、UIターン者向けのセミナーや地元企業とのマッチングイベント、スキルアップセミナー等を開催し、市内で働きたい人を多様な視点で応援していきます。

- 東京圏企業・起業家交流イベント事業（550万円）
- UIターン地元企業マッチングイベント事業（300万円）
- クラウドソーシング人材育成事業（600万円）
- 空き公共施設活用事業（200万円）
- 起業家支援事業（500万円）
- 中小企業新事業及び雇用創出支援事業（設備分）（1,700万円）
- 情報通信関連業人材育成事業（90万円）
- 創業支援セミナー（15万円）

【参考情報】各事業概要資料（別添）

【問い合わせ】

南房総市 商工観光部 商工課 商工振興係 担当者：根形
電話：0470-33-1092 F A X：0470-20-4230
e-mail アドレス：shoko@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見

平成30年4月26日 開催

会見項目No. 3

平成29年度のふるさと納税

制度開始以来の年間最高額、件数となりました

平成29年度の「魅力の郷づくり事業（ふるさと納税）」の寄附実績は、下記のとおりでした。

子どもたちの笑顔を育む事業寄附金	4,461件	103,195,000円
自然環境を活かした地域づくり事業寄附金	2,221件	48,325,108円
市民が主役のまちづくり事業寄附金	427件	11,490,000円
その他事業寄附金（自治体におまかせ）	5,051件	130,935,915円
合計	12,160件	293,946,023円

平成28年度との比較では、件数が2.2倍の6,518件の増、金額は1.9倍の140,035,000円の増でした。

寄附の増加理由として、ふるさとチョイスを運営するトラストバンクにPRに特化したプランを追加したこと、ポータルサイトを「楽天ふるさと納税」、「ふるなび」と増やしたことによるものと考えます。

平成29年度の寄附件数のうち、平成28年度にも寄附をした人による寄附が93,422,008円あり全体寄附金額の31.78%でした。南房総市ファンを増やすという目的を達成するため、今後もリピート数の向上と新規のファン獲得を目標に事業を推進していきます。

年度内の最高寄附額は、東京都目黒区在住の男性による3,000,000円でした。

寄附件数、寄附額とも12月31日が一番多く486件、16,488,907円の寄附を受けました。

人気のあるお礼の品は、活かしたまま、冷凍等色々な配送方法をしている伊勢海老のほか鯨商品、びわ、メロンなどです。

お礼の品の登録状況は、お礼の品の発送を開始した平成27年8月の24社から33社となり、品目数は54品から211品目となりました。

お礼の品の生産者、商品提案募集は随時行っており、4月20日から新規に2社が増え、商品は既存の登録生産者による新商品も含め20品が追加となり、35社、231品目となります。新商品はサバの加工品や、父の日にお送りするヒマワリなどです。

同時に、ポータルサイトもソフトバンクグループの㈱さとふるが運営する「さとふる」からの寄附受付を4月27日から開始します。

ポータルサイトは、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、ふるなびに続いて4つ目となります。

昨年の寄附金の使い道については、平成29年1月から12月までの寄附金から委託料等経費を除いた181,439,000円を基金に積み立て寄附申込時の目的に合った用途で平成30年度の事業費として有効に活用いたします。

【参考情報】年度別実績資料

【問い合わせ】

南房総市 総務部 企画財政課 総合政策係 担当者：松田浩史
電話：0470-33-1001 FAX：0470-20-4598
e-mailアドレス：kikakuzaisei@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 平成30年4月26日 開催

会見項目No. 4

避難行動要支援者布製防災用具『ポングナ』を作製 ～ポンチョにもバンダナにもなる布製防災用具～

布製防災用具「ポングナ」とは、災害が発生し、避難行動要支援者が避難所に避難するときや、避難生活をしているときなどに、支援が必要であることを自らアピールする布製防災用具です。ポンチョとしてもバンダナとしても使うことができることから、ポンチョの「ポン」とバンダナの「ダナ」で、「ポングナ」と名付け、平成30年3月に完成しました。

南房総市では、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿を地域の支援者へ配付しているところですが、地域の支援者から「避難行動要支援者自身も名簿への記載があるからと言って、支援を待っているより、自ら支援が必要なことをアピールすることのほうが有効ではないか。加えて、一見してどのような障害があるかわかると支援しやすい。」との意見があったことから、支援が必要であることがわかる支援用具の作製に至りました。

作製にあたり、災害時に避難行動要支援者が身に着ける支援用具でなくては意味がないため、「支援をアピールする用具があったら使うか。」「どんな形や色がいいか。」を視覚・聴覚・肢体・知的・精神などの障害をお持ちの方へ分野別にヒアリングを実施し、意見を反映した試作品を作製、庁内のプレゼンテーションで決定しました。色は視覚障害者の要望で黄色、形状は手が不自由な方などが被れるポンチョと背中に羽織ったり、スカーフのように首や腰に巻いたり、災害時には包帯にも使用できるバンダナの機能を兼ね備えたものとししました。また、支援内容は、避難行動要支援者によって様々なので、自由に記載ができるように空欄とし、工夫してあります。

現在、千葉県内では、当市のほか2市が避難支援用具を作製していますが、このようなポンチョにもバンダナにもなるものは、県内初となります。

【参考情報】 布製防災用具「ポングナ」チラシ

【問い合わせ】

南房総市 保健福祉部 社会福祉課 社会福祉係 担当者：係長 田村
電話： 0470-36-1153 F A X：0470-36-1133 e-mail アドレス：shakai@city.minamiboso.lg.jp